

様へ

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日		
経過	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目	退院日	
目標	手術に対する不安を伝えることができ、不安が最小限となる		異常な出血がない 排ガスがある 排便がある 創部痛(下腹部)が緩和し、苦痛が最小限となる 退院後の生活上の注意点が理解できる			
検査	身長体重を測定します		採血と尿の検査があります	診察があります	診察があります	
食事	絶飲食です ※ 食品アレルギーは予め申し出てください		昼食から全粥食となります	常食となります		診察の結果問題なければ朝食後退院となります
処置・観察	体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測定します  医師の指示で洗腸をすることがあります  診察があります リストバンドを装着します	術後酸素マスクがついています  術後は体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を頻回に測定します	歩行できれば尿の管を抜きます	創の状態を確認します		
点滴・内服	指示により手術前に点滴を行う場合があります 点滴の針を挿入します 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	手術後の点滴があります  * 痛み・むかつきなどがあれば看護師に申し出てください	点滴が朝、夕にあります			
行動	手術着に着替え、弾性ストッキングをはいてください  オムツ・ナプキンをお預かりします	床上安静となります  * 膝の曲げ伸ばし、足首の運動は行ってください	(許可があれば) 座位ができます 可能なら午後より歩行できます 全身を清拭します。 タオル2枚を用意してください	歩行できます 発熱がなければシャワーができます * 入院中は入浴できません		
説明	医師より説明 ・手術と治療計画について  麻酔科医師より説明 ・麻酔について 看護師より説明 ・入院生活について(家人の方に) ・手術室の場所と入室方法について ・手術中の体位について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		看護師より説明 早期離床について	医師より説明 退院後の治療について  看護師より説明 退院後の療養生活について		

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

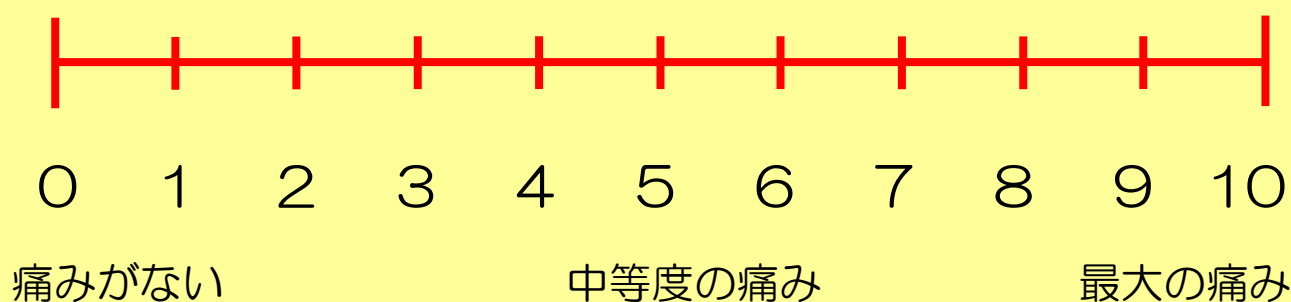
## 手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

👉 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合  
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしく申し上げます。

